

基本情報

科目名	環境衛生学
時間割コード	0234001301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	星野 輝彦
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
星野 輝彦

詳細情報

授業の目的・到達目標	環境因子と人との相互関係に関する知識について学ぶ。 生活環境の安全の確保と健康の維持・増進の重要性を認識できるようになる。
履修上の注意事項	授業前にプリントを読み、わからない語句を調べる。また授業で得た知識を復習しておくこと(60分)。 出欠は出席カードを用います。出席カードの裏に講義の質問や感想を書くこと。次回講義の際回答します。
評価方法	試験90%、レポート10%(レポートは採点して学生へ返却する。)
テキスト	各講義の際に資料を配布する。
参考文献	「環境 ここがポイント」斉藤勝裕(三共出版) 「新しい環境科学」鈴木孝弘(駿河台出版社)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	薬剤師として学校環境衛生管理に關与している。

授業計画

授業計画
スライドや動画を利用します。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	環境衛生学概論：環境衛生の歴史	環境と人類の共存 事前：2時間、事後：4時間	
2	環境因子と人体：環境物質の体内動態と毒性、安全の基準	体内動態と毒性発現 事前：2時間、事後：4時間	
3	環境化学：生態系と物質動態	生態系の構造と環境の中の物質の動態 事前：2時間、事後：4時間	
4	地球環境の化学：オゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨	地球温暖化 事前：2時間、事後：4時間	
5	環境因子と健康：化学的因子(重金属、農薬、工業薬品など)の健康への影響	化学物質の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
6	環境因子と健康：化学的因子(環境ホルモンなど)の健康への影響	環境ホルモン 事前：2時間、事後：4時間	
7	環境因子と健康：生物学的因子(病原微生物など)の健康への影響	病原微生物の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
8	環境因子と健康：物理的因子(放射線など)の健康への影響	放射線の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
9	環境因子と健康：物理的因子(温熱、圧力、騒音など)健康への影響	温度、気圧、騒音などによる健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
10	大気環境と健康：大気汚染の状況と対策	大気汚染の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
11	水環境と健康：水に由来する健康被害、水質汚濁状況と対策	水による健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
12	食品環境と健康：食品汚染と食中毒	食品汚染による健康被害 事前：2時間、事後：4時間	

授業計画

スライドや動画を利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	生活環境と健康：室内の汚染物質	室内の汚染物質 事前：2時間、事後：4時間	
14	生活環境と健康：廃棄物の分類と処理方法	廃棄物の分類 事前：2時間、事後：4時間	
15	環境影響評価と対策：環境アセスメント	環境アセスメント 事前：2時間、事後：4時間	

基本情報

科目名	公衆衛生学
時間割コード	0234001401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
嶋 政弘、阿部 敦	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 ディプロマ・ポリシーに示された能力の育成を意識した内容・展開を目指す。 2 現代における健康課題を理解するために、その基礎となる知識と技能を習得する。 3 私たちを取り巻く自然・社会環境や人々の活動を理解し、心身ともに健康で豊かなQOLの向上を目指すことができる。
履修上の注意事項	1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加50%、期末試験50%で評価する。 再試験は実施する。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料(学習プリント)を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>現代の生活様式や環境に起因する様々な健康課題に関心を持ち、それに対し、私たちはどのようにかかわっていくかというテーマで構成する。</p> <p>そのために、ペアを中心としたディスカッションを随所に仕組み、根拠を示しながら自分なりの考えを述べることを目指す。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	健康の定義と位置づけ	講義の特性から、事前学修は難しいが、事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。事後学修(2)	
2	健康の要因と公衆衛生の特徴	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
3	予防医学とヘルスプロモーション	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
4	健康な社会を目指して 健康の測定と健康指標	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
5	健康な社会を目指して 人口に関する現状と課題を中心に	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
6	集団の傾向の把握 疫学的考えに基づく解析	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
7	集団の傾向の把握 データの種類と解釈	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	

授業計画

現代の生活様式や環境に起因する様々な健康課題に関心を持ち、それに対し、私たちはどのようにかかわっていくかというテーマで構成する。

そのために、ペアを中心としたディスカッションを随所に仕組み、根拠を示しながら自分なりの考えを述べることを目指す。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	感染症とその予防 感染症成立の条件と発症までの経緯データの種類と解釈	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
9	感染症とその予防 感染症に関する現状と傾向（予防と根絶を含む）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
10	食品保健と栄養 食品の安全（食中毒）と現状（予防と根絶を含む）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
11	食品保健と栄養 食品の機能と安全性	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
12	生活習慣病 主な生活習慣病の原因と健康影響（予防と対策を含む）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
13	公衆衛生の発展に寄与した人物（高木兼寛を例に）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
14	健康づくりと行政（阿部）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	
15	福祉と健康づくり（阿部）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。(2)	

基本情報

科目名	学校保健
時間割コード	0234300301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目の履修を通して、基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探求し問題を解決できる能力を養う。 児童生徒の発育・発達、健康、そして学校教育法につながる指導要領等の教育の基礎を把握するとともに、児童生徒の実態から保健教育、保健管理、組織活動の諸活動等を考える。これら学校保健活動の計画と組織を教育計画と学校組織との関連でとらえ、教育の中の学校保健の全貌を述べることができる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(事前60分)。授業の復習を行うこと(事後60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。前時の質問に対しては授業の最答える。
評価方法	試験70% レポート30%により評価する
テキスト	学校保健ハンドブック 第6次改訂 教員養成系大学保健協議会 ぎょうせい
参考文献	新訂版 学校保健実務必携 第一法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	学校保健概論・学校保健と関連法、学校保健の目的、学校保健の構造	事前(60分)内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後(60分)当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
2	学校保健概論・学校保健の歴史	事前(60分)内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後(60分)当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
3	学校保健組織活動・学校保健関係者と各々の職務、学校保健組織と運営、関連組織	事前(60分)内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後(60分)当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	学校保健計画・・・学校教育目標との関連、保健室経営との関連	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
5	学校保健の対象・・・児童生徒の発育発達 の現状と課題	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
6	学校保健の対象・・・児童生徒の疾病異常、 体力の現状と課題	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
7	学校保健の対象・・・心の健康問題、精神 保健	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
8	学校保健活動・・・保健管理：領域側面、 意義、方法	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
9	学校保健活動・・・保健管理：健康観察、 健康相談	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
10	学校保健活動・・・保健管理：健康診断、 保健調査	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
11	学校保健活動・・・保健管理：感染症予防	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
12	学校保健活動・・・保健管理：学校環境衛 生	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
13	学校保健活動・・・安全管理：学校安全と 危機管理、救急処置	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	学校保健活動・・・保健教育：学校における保健教育の考え方	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	
15	学校保健活動・・・性教育、薬物乱用防止教育、食育 がん教育	事前（60分）内容に関わる部分について教科書を読み、分からないところを調べる 事後（60分）当該授業に関する簡単な確認レポートを課すので復習を行う	

基本情報

科目名	養護概説
時間割コード	0234300401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）

担当教員情報

教員名	
古賀 由紀子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目の履修を通して、「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追究し自己研鑽に努める態度と能力を養う。 養護教諭の職務である保健教育、保健管理、救急看護、学校保健経営の4機能を理論的に理解し、具体的な職務内容と方法論で実証し、学校経営の中で、そして学校保健の各領域で養護教諭の職務がどう機能するかを把握し説明できる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。 前時間の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	レポート70%，小テスト20%，保健だより作成10%として評価
テキスト	・新訂 養護概説 編集代表 三木とみ子 ぎょうせい 平成30年 ・「新訂版学校保健実務必携」 学校保健・安全実務研究会 第一法規 2020年
参考文献	「養護教諭の授業づくり」 松本敬子他 東山書房 2005年
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画	
<p>授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。 7回目～13回目はアクティブラーニングを取り入れた授業となるため、事前に出された課題をきちんと行ってしてから授業に参加すること。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	養護の概念	(事前60分)当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。(事後60分)授業後は復習を行って理解を深めること。	
2	養護教諭制度と歴史	(事前60分)当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。(事後60分)授業後は復習を行って理解を深めること。	
3	養護教諭の専門性	(事前60分)当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。(事後60分)授業後は復習を行って理解を深めること。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。
 7回目～13回目はアクティブラーニングを取り入れた授業となるため、事前に出された課題をきちんと行ってから授業に参加すること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	養護教諭の活動拠点保健室－その役割と機能	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
5	保健室経営計画	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
6	養護活動の過程	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
7	養護活動の実践1 健康実態・問題の把握－健康観察・保健調査	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
8	養護活動の実践2 健康実態・問題の把握－健康診断	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
9	養護活動の実践3 健康問題への対応－救急処置活動	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
10	養護活動の実践4 健康問題への対応－健康相談	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
11	養護活動の実践5 感染症予防，学校環境衛生	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
12	養護活動の実践6 学校全体（集団）の健康課題への対応	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので、授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。
 7回目～13回目はアクティブラーニングを取り入れた授業となるため、事前に出された課題をきちんと行ってしてから授業に参加すること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	養護活動の実践7 健康教育について（保健教育，保健だより）	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので，授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
14	保健組織活動	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので，授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	
15	養護教諭と研究，養護教諭の倫理綱領	（事前60分）当該授業内容に関するレポート課題を課すので，授業の前までにキャンパススクエアに提出する。（事後60分）授業後は復習を行って理解を深めること。	

基本情報

科目名	養護実践論
時間割コード	0234300501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	金 1, 金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(教職に関する科目)

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目の履修を通して、基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探究し問題を解決できる能力を養う。 さらに養護専門科目学習の総まとめを行うとともに、養護教諭としての実践力を身につける。学校で養護実践を行う場合に必要計画、実施、評価、改善の各過程をいくつかの職務を例に取り上げ、具体的に述べるができる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業についての課題をだすので、事前学習を行う。(事前60分)。授業で扱ったことの復習を行うこと(事後60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し次時に返却する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	事前学習30%・レポート40%・プレゼン30%
テキスト	適宜プリントを配布する
参考文献	「つながる・ひろがる 学校保健」 東山書房 松本敬子他著
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分)毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	学校経営の中の保健室経営	事前(60分)本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後(60分)当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
2	保健室経営の考え方と進め方、保健室経営計画の立案	事前(60分)本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後(60分)当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
3	保健室経営の実際	事前(60分)本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後(60分)当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	保健室経営の評価	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
5	養護活動の実際（健康診断の計画）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
6	養護活動の実際（健康診断の実施）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
7	養護活動の実際（健康診断の評価・改善）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
8	養護活動の実際（学校救急処置活動の計画）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
9	養護活動の実際（学校救急処置活動—子供に起こりやすい疾病）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
10	養護活動の実際（学校救急処置活動内科的対応-心因性含む）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
11	養護活動の実際 救急処置ロールプレイ	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
12	学校保健組織活動（学校保健委員会の計画）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
13	学校保健組織活動（学校保健委員会の実施）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	学校保健組織活動（学校保健委員会の評価・改善）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	
15	全体まとめ 振り返り	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について授業後に復習を行う。	

基本情報

科目名	健康相談論
時間割コード	0234001101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
古賀 由紀子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	児童生徒の心の健康問題が深刻化し、保健室でも心身両面の対応が養護教諭の重要な職務として位置づけられていることを理解する。また養護教諭の専門性や保健室の機能を生かした相談活動としての「健康相談」についての理論と方法について理解し、具体的に子どもの状態のとらえ方と対応について説明できる。 本科目の履修を通して、他職種と連携、協力しながら対象者の個性を尊重した支援ができる能力を養う。
履修上の注意事項	授業の最後に課題を提示するので、その内容についてテキスト及び他の文献を用いて調べておくこと。(60分) それを次の授業までにキャンパススクエアに提出する。また毎回授業の最後に振り返りと質問をかける。確認後、次の授業で返却する。 前時間の質問には授業の最初に答える。
評価方法	レポート30%、まとめのテスト70%として評価する
テキスト	養護教諭の行なう健康相談 大谷尚子、森田光子編 東山書房 2018年
参考文献	無し
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画	
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	児童生徒の心身の健康問題の現状と背景 /健康相談の基本的理解	(事前60分)授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。(事後60分)本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
2	養護教諭の行う健康相談の捉え方と歴史	(事前60分)授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。(事後60分)本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
3	養護教諭の行う健康相談の特徴について	(事前60分)授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。(事後60分)本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	健康相談に関連する諸理論	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
5	健康相談のプロセス	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
6	初期の対応に必要なアセスメントの知識と技術	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
7	ヘルスアセスメントについて	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
8	健康相談での心理的理解	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
9	養護教諭に必要なカウンセリングの知識と技法	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
10	健康相談における連携	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
11	諸問題の捉え方とかかわり方、事例検討の目的	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
12	事例検討（1）（けがの多い子供への対応、疾病を持つ子供への対応 他）	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
13	事例検討（2）（諸場面での具体的対応一応急手当、複数来室 他）	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	事例検討（3）（保健室登校・不登校への対応）	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	
15	健康相談の記録，研究・研修	（事前60分）授業に関連する部分について教科書を読み、事前に把握しわからないところは調べておく。（事後60分）本時の授業内容の復習をし、理解が不十分なところは再度調べたり、教員に質問したりして理解を深める。	

基本情報

科目名	生活栄養学
時間割コード	0232000901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村上 香
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名	
村上 香	

詳細情報

授業の目的・到達目標	食べ物と健康という観点から、基礎栄養学、食物の消化・吸収、栄養素の特徴や役割、臨床栄養学の面から疾病と栄養の関連について理解し、自らが幅広い視野と知識を身につけ実践する事、特に食事や栄養に関する情報量が急増している中、自身や人々の健康の維持増進に努めてもらう事が出来る。また、医療従事者として、様々な身体的状況にある人々に接する際に、自身が学んだ食・栄養面の知識を効果的に行う技法や体験を活かし、サポートする事で自らも健康的な食生活が実践できるようになる。
履修上の注意事項	「ライフサイエンス」「解剖生理学」の内容を理解しておくこと。「ライフサイエンス」未履修学生は中学・高校の「化学」と「生物」および「家庭科」を復習しておくこと。
評価方法	小テスト50%、期末試験50% 解答とフィードバックコメントを送信する。
テキスト	健康と医療福祉のための栄養学（医歯薬出版）渡邊早苗ほか編
参考文献	わかりやすい栄養学（三共出版） 基礎栄養学（第一出版） 日本人の食事摂取基準（2020年版） 日本食品成分表：2022八訂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>事前学習：教科書を読んで、意味の分からない単語を調べて自分なりに理解しておく。 データ資料をDL・印刷して教科書の内容と合わせて理解しておく。 解剖生理学、高校の生物・化学・家庭科の教科書等を確認して合わせて理解しておく。</p> <p>講義：小テストによる振り返りと理解度の確認。 アクティブラーニング手法としては質問法を行うので、積極的に参加する。</p> <p>事後学習：小テストに備えて講義の振り返りを行う。 講義第2回目以降は受験した小テストのフィードバックコメントを参考に振り返りを行う。</p>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス / 栄養学に必要な基礎	事前学習：p1-10（授業計画参照）ライフサイエンス や高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
2	タンパク質・酵素	事前学習：p1-10（授業計画参照）データ資料、ライフサイエンス や高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
3	脂質・リポタンパク質	事前学習：p29-35（授業計画参照）データ資料、ライフサイエンス や高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	

授業計画

事前学習：教科書を読んで、意味の分からない単語を調べて自分なりに理解しておく。
 データ資料をDL・印刷して教科書の内容と合わせて理解しておく。
 解剖生理学、高校の生物・化学・家庭科の教科書等を確認して合わせて理解しておく。
 講義：小テストによる振り返りと理解度の確認。
 アクティブラーニング手法としては質問法を行うので、積極的に参加する。
 事後学習：小テストに備えて講義の振り返りを行う。
 講義第2回目以降は受験した小テストのフィードバックコメントを参考に振り返りを行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	炭水化物	事前学習：p36-41（授業計画参照）データ資料、ライフサイエンス や高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
5	消化・吸収・代謝	事前学習：p3-10（授業計画参照）データ資料、ライフサイエンス や高校の生物・化学・家庭科の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
6	ビタミン	事前学習：p42-49（授業計画参照）データ資料、ライフサイエンス や高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
7	ミネラル	事前学習：p50-51（授業計画参照）データ資料、ライフサイエンス や高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
8	食品と栄養	事前学習：p11-22（授業計画参照）データ資料、高校家庭科の教科書等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
9	ライフステージと栄養（妊娠・授乳期、乳幼児期）	事前学習：p133-146（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
10	ライフステージと栄養（学童期・思春期）	事前学習：p147-152（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
11	ライフステージと栄養（成人期・更年期）	事前学習：p153-160（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
12	ライフステージと栄養（老人期）	事前学習：p161-168（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
13	医療と栄養	事前学習：p91-111（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
14	栄養評価・栄養教育	事前学習：p65-90（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	
15	栄養管理におけるチームアプローチ	事前学習：p97 103, 113-132（授業計画参照） 事後学習：授業計画参照	

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	0232000801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	二科 安三
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名	
二科 安三	

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体各部の構造と機能を勉強する。本講義で中心となるのは自律神経系、内分泌系、骨と筋肉、生殖器官系、生体防御免疫系である。適切な教科書を指定するので、その7割程度は理解して他人に解説できるようになること。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）
評価方法	期末試験(100%)で判定する。 質問のあった内容については講義内で解説し、フィードバックを行う。
テキスト	解剖生理学 と同じ教科書を使用する。 解剖生理学 人体の構造と機能 1、坂井建雄、岡田隆夫、医学書院
参考文献	なし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	神経系の構造と機能 神経系の構造、興奮の伝導と伝達		
2	自律神経による調節		
3	内分泌による調節 1 ホルモンの構造、視床下部、下垂体		
4	内分泌による調節 2 甲状腺、膵臓、副腎、甲状腺・副甲状腺		
5	内分泌による調節 3 ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節		
6	身体の支持と運動 1 骨と筋の構造		
7	身体の支持と運動 2 体幹、上肢、下肢、頭頸部の骨格と筋		
8	身体の支持と運動 3 筋の収縮		
9	情報の受容と処理 1 中枢神経の構造と機能		
10	情報の受容と処理 2 末梢神経の構造と機能		
11	情報の受容と処理 3 脳の高次機能、運動機能、感覚機能		
12	情報の受容と処理 4 特殊感覚の構造と機能		
13	身体機能の防御と適応 1 皮膚の構造と機能、生体の防御機構		
14	身体機能の防御と適応 2 体温とその調節		

授業計画

教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	生殖・発生と老化のしくみ		

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0234001201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
徳富 芳子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学は、疾病を正常機能の破綻や調節機能の異常の観点から原因解明する学問であり、病理学は、疾病の原因、機序などを明らかにする学問である。本科目では、社会福祉・学校保健分野のニーズへの対応に必要な専門知識を学ぶ。具体的には、解剖生理学で学んだ人体の正常な仕組みに関する知識に基づき、疾病の成り立ちを基本的な機序に沿って整理する。さらに、その結果引き起こされる組織や臓器の変化に関する正しい知識を身につけ、各種疾患における病態生理や臨床症状を理解するための基礎的事項を総論的に学ぶ。専門用語を正しく理解し、臓器ごとの各種疾患の成り立ちを理解するための基礎知識を身につける。正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し説明できること、病態生理学の知識を用いて医療分野のニーズに対応できるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること(2時間程度)。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること(2時間程度)。 3) 講義プリントはファイルし、毎回、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくること。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 筆記試験(100%)で評価する。 2) 「正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できる」を評価基準とする。 2) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	1) 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 [1] 「病理学」(第6版) 大橋健一ほか著、医学書院 2) 教員作成プリント
参考文献	1) なるほどなっとく! 病理学 病態形成の基本的な仕組み 改訂2版、小林 著、南山堂 2) シンプル病理学 改訂第8版。笹野 他編、南江堂 3) わかりやすい病理学 改訂第7版。恒吉 監修、南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	病理学で学ぶこと、病気の原因(内因、外因)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	細胞・組織の損傷と修復、炎症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	免疫・アレルギー、移植と再生医療	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	感染症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	循環障害 : 局所性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	循環障害 : 全身性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	代謝障害 : 脂質代謝障害、タンパク質代謝障害	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
8	代謝障害 : 糖代謝障害、そのほかの代謝障害	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
9	老化と死	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
10	先天異常	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
11	遺伝子の異常と疾患	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
12	腫瘍 : 腫瘍の定義と分類、悪性腫瘍の広がりと影響	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
13	腫瘍 : 腫瘍の発生病理	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
14	腫瘍 : 腫瘍の診断と治療	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
15	生活習慣と環境因子による生体の障害	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	

基本情報

科目名	感染症学
時間割コード	0232001001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
三森 龍之、徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、社会福祉・学校保健分野のニーズへの対応に必要な感染症学の知識について学ぶ。具体的には、ヒトと共生する常在菌叢の働き、ヒトの健康を害する病原微生物・寄生虫の性質や感染機構を理解し、さらに代表的な感染症について、その感染経路、症状、予防・治療法に関する基礎知識を修得する。また、生体防御機構、各種感染症に有効な化学療法薬・消毒薬の病原体に対する作用とヒトへの影響について理解を深めるとともに、耐性菌、新興感染症・再興感染症の出現、日和見感染症の増加等の医療分野における重要な課題について説明できるようになる。さらに、がん治療に用いる化学療法薬の種類と作用機序についても概説できるようになる。
履修上の注意事項	1) 毎回の準備学習として、教科書を熟読する。(約2時間) 『わかる!身につく!病原体・感染・免疫』(主に第1-6回に使用)、 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』-第2章,3章,4章,15章-(第7-15回に使用) 2) 授業には指定教科書、ノート、プリントを持参する。講義内容を書留め、その日の内に復習する(約2時間)。 3) 講義プリントはファイルし、専門用語を正確に覚え、その概念を正しく理解する。 4) 教科書・参考書・講義プリント等について理解できない箇所は、教員に質問する。
評価方法	1) 「授業の目的・到達目標」に示した内容の達成度を評価するため、学期末に筆記試験を行う。 配点：第1～6回の講義 40%、第7～15回 60% 2) 小テスト結果のフィードバックとして、授業内でポイントの解説を行う。
テキスト	1) 『わかる!身につく!病原体・感染・免疫 第3版』 藤本 編, 南山堂 2) 教員作成プリント 3) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学 (第14版)』 吉岡 他著, 医学書院(薬理学でも使用する)
参考文献	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4 微生物学(第13版)』 南嶋 他著, 医学書院 2) 『コンパクト微生物学 改訂第5版』 小熊 他監修, 南江堂 3) 『微生物学・感染看護学 -微生物から感染防止を考える- 第2版』 岡田 他編, 医歯薬出版 4) 『コメディカルのための薬理学 第3版』 渡邊 他編, 朝倉書店 5) 『わかりやすい薬理学 第4版』 安原 他編, ヌーヴェルヒロカワ 6) 『シンプル薬理学 改訂第6版』 野村 他編, 南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	感染症学概論、常在菌叢とその働き(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	病原微生物の分類と特性(構造、性質、病原性、感染機構)(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	細菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	真菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	ウイルスと感染（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	寄生虫・原虫と感染（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	感染症に対する薬物療法（化学療法薬概論）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	薬物動態（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	感染に対する生体防御機構（免疫系）、予防接種用薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	抗病原微生物薬の作用機序（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	抗菌薬（抗生物質）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	抗菌薬（合成抗菌薬）、抗結核薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	抗真菌薬、抗原虫薬、抗寄生虫薬、抗ウイルス薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消毒薬・殺菌薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	抗がん薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	薬理学
時間割コード	0232001101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、社会福祉・学校保健分野のニーズへの対応に必要な薬物療法の知識について学ぶ。薬物とは、恒常性（ホメオスタシス）の破綻による生体機能の異常（病態）を正常範囲に戻そうとする目的で、疾病の治療・予防・診断に用いられる化学物質である。日進月歩の薬物療法が、医療・保健・福祉の現場で適正かつ有効に行われているか判断できるよう、各種薬物を系統的に把握し理解する。基本的な薬理学の知識に基づく論理的思考力を駆使して、副作用の発現防止に寄与するための応用力を身につける。薬物療法の専門知識を用いて論理的思考を展開し、医療分野のニーズに対応できるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること（2時間程度）。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること（2時間程度）。 3) 講義プリントはファイルし、薬理学授業時に、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくる。こと。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 学期末の本試験（100%：筆記試験）で評価する。 2) 「薬物療法の専門知識を用い、論理的思考を展開できる」を評価基準とする。 3) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』吉岡 他著，医学書院（感染症学でも使用） 2) 教員作成プリント
参考文献	1) 『コメディカルのための薬理学 第3版』渡邊 他編，朝倉書店 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編，ヌーヴェルヒロカワ 3) 『シンプル薬理学 改訂第6版』野村 他編，南江堂 4) 『看護学テキストNiCE 薬理学』荻田 他編，南江堂 5) 『今日の治療薬2022』浦部他編，南江堂 6) 『はじめる！つかえる！看護のための薬理学』時政 著，南山堂 7) 『イラストで理解するかみくだき薬理学 改訂2版』町谷 著，南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	薬理学総論（薬物療法、薬物の作用点）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
2	薬理学総論（薬物動態、剤形）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	薬理学総論（薬物相互作用）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	薬理学総論（年齢等による薬効変化、薬物療法の有益性・危険性、関係法規）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	末梢神経系作用薬（交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	末梢神経系作用薬（副交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	末梢神経系作用薬（筋弛緩薬、局所麻酔薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	循環器系作用薬（降圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬、抗不整脈薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	循環器系作用薬（利尿薬、脂質異常症治療薬、抗凝固薬・血栓溶解薬、貧血治療薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	中枢神経系作用薬（全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ・躁薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	中枢神経系作用薬（パーキンソン病治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬、片頭痛治療薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	免疫治療薬（免疫抑制薬、免疫増強薬）、抗アレルギー・抗炎症薬	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	呼吸器系に作用する薬物（気管支喘息治療薬、鎮咳・去痰薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消化器系に作用する薬物（消化性潰瘍治療薬,他）、生殖器・泌尿器系に対する薬物	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	代謝・内分泌系に作用する薬物（糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬、痛風治療薬、他）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	精神保健
時間割コード	0234001501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
水間 宗幸、平川 泰士	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について説明できるようになる。 2 精神保健を維持・増進するために機能している専門機関や関係職種との役割と連携について基礎的知識を備える。
履修上の注意事項	予習復習が必要。特に次回に触れる内容について、少なくとも事前にテキストを一読すること。復習時にはキーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。予習120分、復習120分を目安とする。
評価方法	試験による評価(100%)。なお希望者には個別に評価内容を伝える。
テキスト	最新 精神保健福祉士養成講座2「現代の精神保健の課題と支援」(2021) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	水間宗幸：2011年12月より、非常勤心理士として精神科病院で発達障害を持つ子どもとその家族を対象に発達相談を行っている(現在に至る)。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	精神保健の概要(担当:水間)	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
2	精神保健の歴史と現代における意義・課題(担当:水間)	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
3	社会構造の変化と新しい健康観(担当:水間)	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
4	ライフサイクルと精神の健康(出生前~思春期)(担当:水間)	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
5	ライフサイクルと精神の健康(青年期~老年期)(担当:水間)	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	ストレスと精神の健康（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
7	生活習慣と精神の健康（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
8	精神の健康、精神疾患、身体疾患に由来する障害（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
9	発達障害と精神保健（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
10	うつ病と自殺防止対策（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
11	現代社会を取り巻く諸相と精神保健（長寿・認知症・少子化を巡って）（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
12	精神の健康に関する心的態度（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
13	精神保健に関する予防の概念と対象（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
14	精神保健に関する国、都道府県、市町村、団体などの役割と連携（担当：平川）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
15	精神保健に関する専門職種（担当：水間）	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	

基本情報

科目名	看護学概論
時間割コード	0232000201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	金 1, 金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、上妻 尚子、赤峰 隆元	

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護専門職としての自己の健康観、看護観を追及するために必要となる知識、概念を理解する。看護の対象および看護の提供、歴史・制度および将来の専門職の展望に関する知識から看護学について理解する。保健・医療・福祉専門職者として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性を知る。
履修上の注意事項	課題について考え、レポートを提出する。第1回目のオリエンテーション時に授業前・後の学習（各2時間）について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習であり、その学習を生かして授業ではグループワーク、意見交換をする（アクティブラーニング）。事後課題では授業での学習を生かしてレポートを作成する。講義期間中の小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。教科書の精読、レポート作成に要する時間は60分である。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%。 フィードバックとして小テストは問題を確認することで学習に役立て、レポートは返却する。
テキスト	『初学者のための看護学講義—学習の基礎を固め、健康な生活を助けよう—』赤峰隆元・古江佳織・上妻尚子・柴田恵子、幻冬舎、2021。
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上妻、古堅、古江、赤峰は病院、施設等において看護師としての実務経験者、柴田は学校における養護教諭の実務経験者である。

授業計画

授業計画	
看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護学概論とは（柴田）	オリエンテーション時に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	
2	人間の欲求と健康、健康のとらえ方（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	国民の健康状態（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	看護の対象の理解（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	サービスとしての看護・看護サービス提供の場（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	災害時における看護（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	小テスト1、ナイチンゲールについて（柴田）	事前学習はこれまでの学習を復習する。 事後学習はナイチンゲールについて学習したことをまとめる。	
8	医療安全と医療の質保証（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	看護職者の教育とキャリア開発、看護職の養成制度の課題（赤峰）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は養成制度の特徴を確認する。	
10	看護における倫理（柴田）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は看護倫理からの学びを基に自己の課題を明らかにする。	
11	国際化と看護（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	看護とはなにか（柴田）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は看護の定義をまとめる。	
13	小テスト2、看護の理論家について学習（柴田）	事前学習はこれまでの学習を復習する。	
14	職業としての看護・看護職者の養成制度と就業状況（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	グループワーク：医療職者における専門性、学習のまとめ（柴田）	事前学習は医療職者の専門性について調べる。事後学習は専門性を高めるための自己の課題を明らかにする。	

基本情報

科目名	看護学各論
時間割コード	0234300601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	月 1, 月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	生活者に発生する疾患や症状の理解を深め、看護の視点や方法について学習することを目的とする。 また、養護教諭の職務の一領域である学校看護に必要な看護学を学ぶ。学校看護は、児童・生徒の生命を守り、健康の維持・増進をはかることを目的とし、また重要な教育活動である意義を理解する。心身のメカニズム、疾病・異常等、臨床看護実習にも必要な知識・技術を修得すると共に、これらを学校看護の教育としての独自性の中に生かすことを学ぶ。
履修上の注意事項	事前学習として、それぞれの単元で扱う項目に関する事柄を、テキストから拾い上げておき、講義に臨むこと。 事後学習では、講義終了後にノートをまとめなおし、関連する疾患や状態像と合わせて理解を深めること。 (事前・事後学習として60分) 講義中はグループ討議を行うこともある。積極的にかかわること。
評価方法	課題の提出等 20% 筆記試験(小テストを含む) 80% 提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	養護教諭のための看護学 四訂版 藤井寿美子他 大修館書店 四訂版第2刷 2021年9月1日
参考文献	講義中に適宜伝える
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	看護の基礎と看護行為の基本、疾病の経過や治療処置に伴う看護の理解を深める	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
2	循環器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
3	呼吸器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
4	消化器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	造血器系疾患 内分泌・代謝系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
6	泌尿器・生殖器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
7	運動器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
8	脳神経系疾患、精神系疾患の発生機序とその看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
9	感覚器系疾患に関する病態とその看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
10	救命救急看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
11	発熱・腹痛・頭痛・嘔気嘔吐・呼吸困難・けいれんなどの症状別看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
12	小児看護と母性看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
13	思春期看護、障がいのある方への看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
14	老年、精神看護を理解する（在宅を含む）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
15	ターミナルケアからグリーフケアまでの重要性を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	基礎看護技術
時間割コード	0234300701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、古城 玲子、吉岡 久美、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉に関わる様々な課題を、地域の中で他職種の人々と連携・協力しつつ、児童・生徒の課題解決に向けて取り組もうとする力を養うことを目指す。 養護教諭に必要な看護技術の基礎知識を習得することを目的とする。 1. 健康の回復、維持増進を図るための看護技術を実践できる。 2. 看護の基礎技術を学習し習得することで、援助過程での活用の意義を説明することができる。
履修上の注意事項	・ 演習は動きやすい服装（ジャージ等）と靴を準備すること ・ 準備物等は掲示板にて連絡するため、確認しておくこと ・ 講義及び演習の構成上、展開計画の流れが変更となることがあるが、事前に掲示するため注意し、十分に事前学習をしてレポート作成すること ・ 事後学習では、関連する疾患や状態像と合わせて理解を深め、課題に取り組むこと。（事前事後で60分）
評価方法	筆記試験 70% 学習への取り組み、課題の提出 30% 提出された課題についてはコメントを入れて返却する
テキスト	基礎看護技術 松尾ミヨ子他：編 （メディカ出版） 2022年8月第1版第2刷
参考文献	講義中、適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：大学病院（看護師）、一般病院（看護部長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者） 柴田恵子：基礎看護学分野教員 古江佳織：基礎看護学分野教員 看護師経験 古堅裕章：基礎看護学分野教員 看護師経験 赤峰隆元：基礎看護学分野教員 看護師経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	病床環境調整の必要性とその方法について学習し実践する。（吉岡）	事前学習として、テキストを基に病院及び病床環境についてまとめること。病床の援助としてベッドメイキングの方法を確認しておく。 事後学習として、患者の状態に応じた環境の調整について整理する。	
2	生命の兆候を観察する技術を知り、バイタルサインの示す意味と測定方法を習得する。（吉岡）	事前学習として、バイタルサインとは何か、そのチェックにおける方法と留意点をまとめる。 事後学習として、実際の測定における困難と工夫、確実な実践方法を整理する。	
3	安全を守る技術を習得し、安楽な体位を理解して移動等の支援の実践方法を習得する。（柴田）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	運動と休息の影響を理解し、体位、運動の援助方法を習得する。（古堅）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
5	栄養管理を含めた食事の重要性を理解し、形態、摂取方法について理解する。（古堅）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
6	排泄の意義・目的を理解し、その管理方法と援助について実践する。（柴田）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
7	身体の清潔の目的を理解して、衣服管理・交換方法を含めた援助を実践する。（柴田）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
8	身体の清潔の目的を理解して、身体保清の具体的方法を習得する。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
9	電法の適応を理解して実践し、安楽かつ快適さを確保する技術を習得する。（吉岡）	事前学習として、電法の目的、種類、留意点を整理する。 事後学習として、電法の効果と危険性について整理する。	
10	検査・治療を安全かつ正確に行う技術を理解し、対象者の理解と看護の役割を知る。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
11	感染の具体的予防としての管理方法、清潔操作、創傷管理等を実践する。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
12	与薬についての知識を深め、薬剤の管理と投与方法を理解する。（赤峰）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
13	安楽な呼吸のための吸引、吸入の目的と種類を理解し、手技と管理方法を習得する。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
14	救急救命処置の技術を理解し、緊急時の判断ができる能力を習得する。（赤峰）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
15	危篤・終末時の心理・生理的变化を踏まえて死を迎える時の援助を習得する。（吉岡）	事前学習として、終末期における身体・精神的变化をテキストから学習する。 事後学習として、死を迎える本人と周りの人への処置・対応をまとめる。	

基本情報

科目名	臨床看護実習
時間割コード	0239000101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子、古城 玲子、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	基礎から積み上げた体系的な教養を身につけて、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探究し問題を解決できる能力を、実習及び関連する指導を通して養う。 看護学・基礎看護技術で学習した知識・技術をもとに病院臨床の場でさらに観察し、実際に行ってみるにより看護の理解を深める。 学校保健活動及び養護教諭の職務、養護実習との関連を考え、臨床看護実習の意義を理解し説明できる。
履修上の注意事項	・実習事前指導に出席すること ・事前学習として、これまで学んだ解剖生理、病態、医学一般、看護学各論、基礎看護技術、薬理学等を中心に 復習しておくこと ・事後学習では、報告会での他実習先での学びを振り返り、体験できなかった技術や対応について、その方法・ 留意点をまとめること (事前事後120分)
評価方法	実習成績(90%)・実習病院等の評価 実習態度、看護実習レポート、カンファレンスへの参加や学内実習態度(発表)の積極性(10%) レポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	実習要項、実習資料
参考文献	基礎看護技術 メディカ出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：大学病院(看護師)、一般病院(看護師長)、訪問看護ステーション(訪問看護師・管理者) 古賀由紀子：公立学校養護教諭経験 古城玲子：看護師経験

授業計画

授業計画
目的：看護学・基礎看護技術で学習した知識・技術をもとに病院臨床の場でさらに観察し、実際に行ってみるにより看護の理解を深める。 学校保健活動及び養護教諭の職務、養護実習との関連を考え、臨床看護実習の意義を理解し説明できる。
8日間の臨床実習及び2日間の学内実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること (事前事後学習を合わせて90分を目安とする)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			